中央公民館だより

平成28年9月1日発行

三原市中央公民館

三原市円一町2丁目3番1号

TEL 0848-64-2137 FAX 64-0137

巨大アートを囲んで 8.7 平和の祭典

読み語りボランティアによる平和絵本朗読



巨大折鶴アート"空·海·風"(約2×5m)



参加者全員による"平和の歌声"大合唱







三原少年少女合唱団のコーラス



JAMの歌唱&演奏





8月7日(日)、2年目を迎えた中央公民館の広域連携(近隣コミセンとの提携)による平和イベント「未来へ届け よう平和の歌声」は、200名以上の参加があり盛況でした。

会場には、事前に市民の皆さんの協力を得て各公民館・コミセンで分割制作されていた、巨大折鶴アートが飾られまし た。使用された折鶴の数は、広島市より譲り受けた"原爆の子の像"の折鶴も併せ、総計 16、000 羽。そのアートを背に、 平和や命、友情等をテーマにした、絵本の朗読や歌声、合唱・演奏等が繰り広げられました。絵本の朗読は読み語りボラ ンティアの方にお願いし、『折り鶴』を初めとする歌声は渡辺民榮さんの指導により会場に集った全員が参加、合間に各出 演団体による熱唱・熱演で盛り上がりました。

音楽やアートを通じて、平和の尊さや命の大切さについて考えるきっかけになれば、と願っています。

9月の体験講座						
講座名	開催日時	対象	参加費	持参物	定員	申込期間
お手軽編集講座 「三原 P R ムービーを作ろう」	9月12日(月)、 14日(水)、26日(月) 9:00~	大人	各日 100 円	ビデオカメラ、または デジタルカメラ、筆記用具	15名	9月1日 ~9月9日
【3つのコードで楽しむ】 かんたんウクレレ	9月16日(金) 10:00~12:00	大人	100円	ウクレレ(3台レンタル可)	15名	9月1日 ~9月14日
日本語学習ボランティア 養成講座	9月21日(水)、 28日(水)、10月5日(水) 14:00~16:00	大人	各日 100 円	筆記用具	15名	9月1日 ~9月16日

七宝作家七宝の面白さに惹かれて

"自由人•夢中人•地域人"活動拝見⑦

今回登場いただくのは七宝作家「脇まどかさん」です。脇さんは三原市の学芸員でもあります。日本七宝作家協会展・同国際展に17年間連続入選され最近では個展も開催されたり、七宝焼講座も行われ作家活動のみならず、伝統工芸の伝承へも意欲的に取り組まれています。17年前、彩佳耶子先生に師事され、自分の感性の表現方法として出逢うべくして出逢えたと語られました。仕事上で作家さんの作品を拝見したり展示する側ですが、作家さん=創り手側の想いを観ていただく方にどう伝えたいか、伝える為にどんな配置をすれば有効かなど、ご自身が作家活動をしてみて気付いた事が多くあるそうです。七宝の魅力は、なんといっても火の中で溶けてゆく釉薬の色の変化だそうです。偶発的にまた、必然的に起こる色と艶感の魔法のような世界だそうです。その伝統的表現技法は多く、個々の表現力や技法の好みや組み合わせで、奥の深い表現を実現できるそうです。銅板の大きさや配色、技法の選択で、表現したい構図がより輝く世界だと感じました。

今回の展示の中で、私は瀬戸内海の銀波と島々と棚田を表現した作品や、「静」というモダンな作品が印象に残りました。 他にも、絆であったり、ぬくもりであったり、きらめきであったり、迷いであったり一つ一つの作品から伝わるメッセージを感じました。これからもさらに研鑽を積み、七宝を通して想いやメッセージの伝わる創作活動をしてゆきたいと結ばれました。







編集後記

= ゆく夏に名残る暑さは夕焼けを吸って燃え立つ、葉鶏頭、秋風の心細さはコスモス = 晩夏という歌詞をふと口ずさむ今日この頃です。残暑が厳しいですが、秋は確実にやってきます。美術館めぐりはいかがでしょうか。

日本画の巨匠「東山魁夷」展一自然と人、そして町一が9月17日(土)から10月30日(日)まで広島県立美術館で開催されます。私は個人的に"青色"が好きです。それも岩絵の具の群青を使った絵画が大好きです。岩絵の具は鉱石を砕いて粉状にしたものです。天然の鉱石なので深みや、やわらかさ、角度によってちがうきらめきを感じます。有名な平山郁夫画伯の「月光ブルーモスクイスタンブール」の青は岩絵の具は独特の深みときらめきを感じます。東山魁夷画伯の「夕星」も、青が主で、静寂の色、孤独の色、悲哀の色、郷愁の色といわれる青で描かれています。先に逝った兄弟と両親を描いたとされる4本の木と、宵の明星=金星がまたたいています。またたく金星は、宵には西に明けには東にあらわれ、惑星とも呼ばれたり、一つ星とも呼ばれ魁夷画伯の個独を表現しているようにも感じます。